

請願第3号

住民の安全を脅かす陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の
陸上自衛隊新屋演習場への配備計画反対に関する決議について

令和元年6月3日受理

私たち新日本婦人の会は、女性と子供の幸せ、平和と暮らしの向上を願い、全国で運動している国連NGOの女性団体です。私たちは、次のことで請願することになりました。

陸上自衛隊新屋演習場で実施された適地調査の結果について、原田防衛副大臣より秋田県知事と秋田市長に対して伝えられました。「適地」であるとの報告及び住民の安全を考慮して①施設を住宅地から700メートル離れた場所に設置することや、②テロ対策として警備部隊などを200人から250人にふやすということ等も盛り込まれた内容でした。

有事の際は軍事施設が真っ先に攻撃対象になると言われており、700メートルの緩衝地帯が住民の安全につながるとはどうしても思えません。また、テロ対策としての警備部隊がミサイル基地を守ることを優先にし、住民を守るためという保障はありません。今回の報告は私たち住民が納得できるものではありません。

住宅密集地に隣接している新屋演習場が攻撃されたとき、住民の安全を守るすべはあるのでしょうか。今回当選された市議会議員の7割が新屋演習場への配備に反対していましたが、これは、住宅密集地にミサイル基地を配備するという常識ではあり得ないことや、住民の安全を守ることはできないといったことなどから判断したのではないのでしょうか。電磁波による健康被害やミサイル攻撃をされた場合の安全対策等に納得がいく説明ができない配備を私たちは許すことができません。

江戸時代、砂害から住民の命と安全を守るために命がけで松林をつくったという歴史のある新屋の地。この地を政治の判断で命の危険におびえる場所にしてはなりません。今を生きる私たちには、これからも安心して暮らせる秋田を子供たちに手渡す責任があります。住民の立場に立った「適地」とは、命を脅かす軍事基地がない地のことです。議員の皆様には安全な秋田を未来に手渡す仕事を一緒に取り組んでくださるよう心よりお願いいたします。

つきましては、秋田市議会として、陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画に反対する決議をしていただくよう請願いたします。